



あんぜん プロジェクト

あんぜんプロジェクトは
労働災害のない日本を目指して
働く方の安全に一生懸命に取り組み
「働く人」、「企業」、「家族」が
元気になる職場を創るプロジェクトです!



プロジェクトメンバー
(参加企業)を募集しています。

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/>

サイトで募集中。メールで参加申請できます。



参加企業には、
あんぜんプロジェクトと
転倒災害プロジェクトとの
コラボステッカーを
プレゼント!

自社ホームページを開設していない場合でも
プロジェクト参加が可能です!

「あんぜんプロジェクト」
ホームページ上で
『「見える」安全活動コンクール』
を実施します。

募集期間

(P.3参照)

令和元年 令和元年
8月1日～9月30日まで

優れた安全活動事例を募集しています。

安全は企業の礎です。

働く人の安全と健康を確保することは事業者の責務ですが、そのためには、企業とそこで働く
方々の創意と工夫による不断の努力が不可欠です。また、安全への取組は、働く人の能力向上、
企業の生産性向上、ご家族の安心やワークライフバランスの実現にも良い影響を与えます。
さらには、消費者の皆様に良質な製品やサービスを提供することにつながるものです。

あんぜんプロジェクトは、働く方の安全に一生懸命に
取り組んでいる企業を応援しています!

参加手続きについてのお問い合わせ

参加手続き申請窓口(富士通株式会社)

電話: 03-5962-3138

e-mail: contact-anzenproject@cs.jp.fujitsu.com

あんぜんプロジェクトについてのお問い合わせ

あんぜんプロジェクト事務局

(厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課)

電話: 03-3595-3225

※あんぜんプロジェクトの参加手続きに係る事務は、「職場の安全衛生情報の周知・啓発事業」の委託契約を厚生労働省と締結
した富士通株式会社が実施しています。

「見える」安全活動の例

事例① 転倒災害を防止するための「見える化」



仮設事務所階段の転倒防止処置

仮設事務所の階段は滑りやすく踏み外しやすい。よって、滑り止めテープおよびトラテープを貼った。また、夜間の対策として人感センサーおよび反射・蓄光テープを貼り見える化を徹底。

企業名：東芝インフラシステムズ(株) 関西支社
業種：建設業

事例② 化学物質による危険の「見える化」



局所排気装置 運転の見える化

囲い式局所排気装置の運転状況の確認として、風量が適正な値となっているかを確認する必要がある。風量が良好か不足しているかが分かるようにリボンの角度で判定できるように表示した。

【PR内容】 囲い式局所排気装置の確認は、吹き流しのみで見ていたが、装置の状態が分かりにくいため、吹き流しの角度で装置の状態がわかったがポイント。

企業名：メタコート工業(株) 岡山工場
業種：製造業

事例③ その他の危険有害性情報の「見える化」

I. 従来+αの工夫による見える化

◇現場への know-why「なぜ、そうするのか？」の表示



注意点を現場に表示する場合、
合わせて「know-why」も表示。
注意の目的を明確にする狙い。



『危険情報の見える化』 by見える化委員会

当工場では、『見える化委員会』にて潜在危険源撲滅活動に取り組んでおり、現場へのknow-why表示やサーモテープ活用による見える化等、従来から一工夫した見える化を実施、また『見える化事例集』により優良事例の水平展開を図るなど、全員参加で活動を展開しています。

企業名：エア・ウォーター(株) ケミカル鹿島工場
業種：製造業

※その他の優良な活動事例につきましては、下記URLを参照してください。

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/2018/result.html>